平成８年度

村内遺跡

１９９７

群馬県勢多郡富士見村教育委員会

例　　言

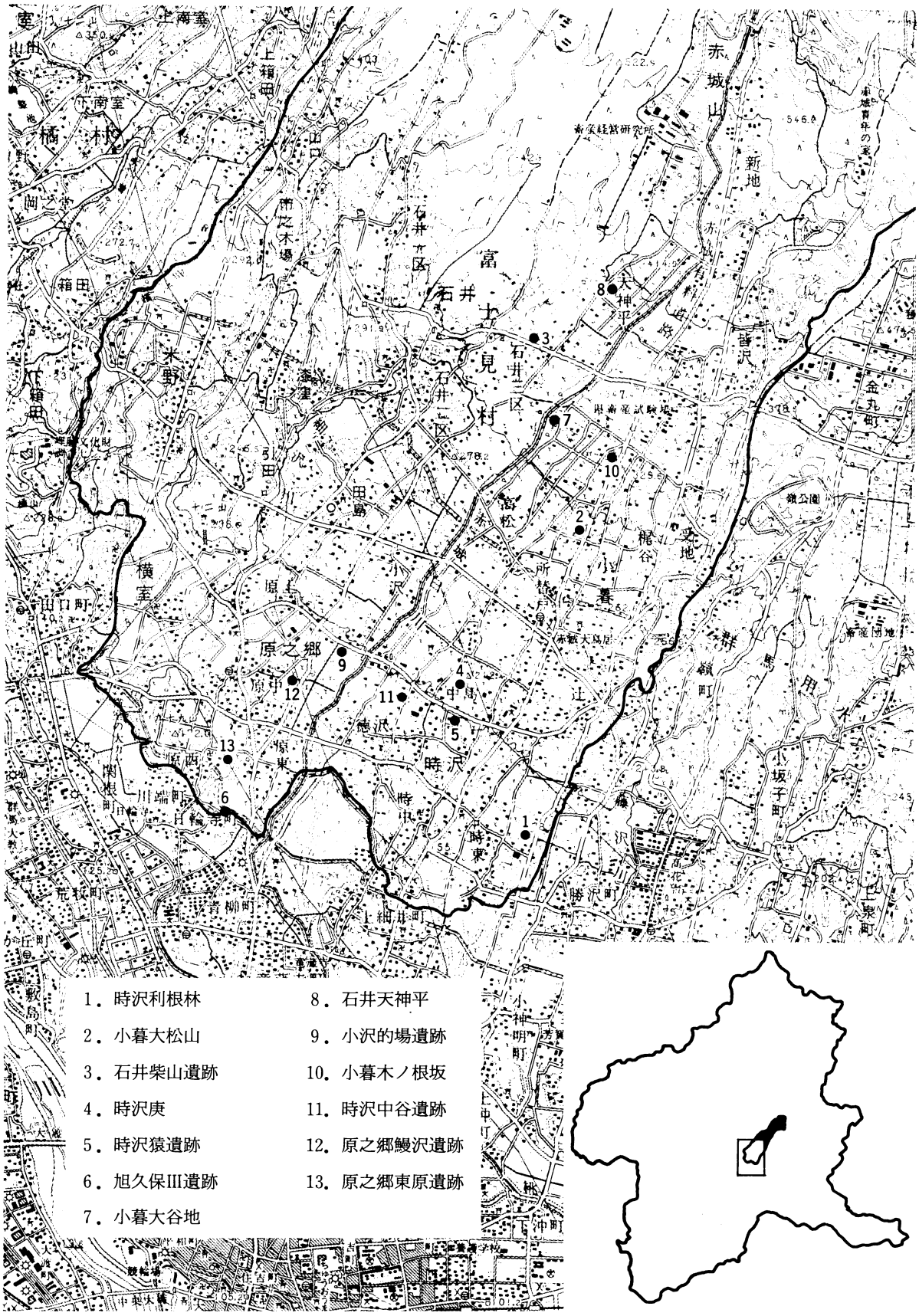
1．本報告書は、平成８年度国庫補助事業として試掘調査を行った村内遺跡発掘調査報告書である。
2．調査体制は、教育長　鈴木清茂、社会教育課長　品川良治、課長補佐　椛澤幹男、主査　羽鳥政彦（担当）である。
3．調査に要した経費は、国宝重要文化財保存整備費補助金、群馬県文化財保存事業費補助金、村費があてられた。
4．各遺跡の所在地、調査期間等は本文中に記した。
5．本報告書の編集・執筆等は羽鳥が行った。
6．本発掘調査における記録資料や出土遺物は富士見村教育委員会事務局で保管している。

凡　　例

1．第１図は国土地理院発行１：50000地形図「前橋」を用いた。調査地の地形図は基本的に富士見村役場発行１：2500原形図を１：5000に縮小し用いている。
2．地形図の方位は上が北である。トレンチ配置図の方位は一定していない。
3．トレンチ配置図の縮尺は一定していない。

目　　次

例言・凡例
調査地の位置……1
1．時沢利根林……2
2．小暮大松山……3
3．石井柴山遺跡……4
4．時沢庚……6
5．時沢猿遺跡……7
6．旭久保Ⅲ遺跡……8
7．小暮大谷地……9
8．石井天神平……10
9．小沢的場遺跡……11
10．小暮木ノ根坂……12
11．時沢中谷遺跡……13
12．原之郷鰻沢遺跡……14
13．原之郷東原遺跡……15
写真図版


1．時沢利根林
2．小暮大松山
3．石井柴山遺跡
4．時沢庚
5．時沢猿遺跡
6．旭久保III遺跡
7．小暮大谷地
8．石井天神平
9．小沢的場遺跡
10．小暮木ノ根坂
11．時沢中谷遺跡
12．原之郷鰻沢遺跡
13．原之郷東原遺跡

第１図　調査地の位置

1．時沢利根林

所在地

勢多郡富士見村大字時沢字利根林1,330番地1

調査原因

分譲住宅建設

調査期間

平成8年5月10日

開発面積　　1,014㎡

調査面積　　150㎡

第2図　時沢利根林

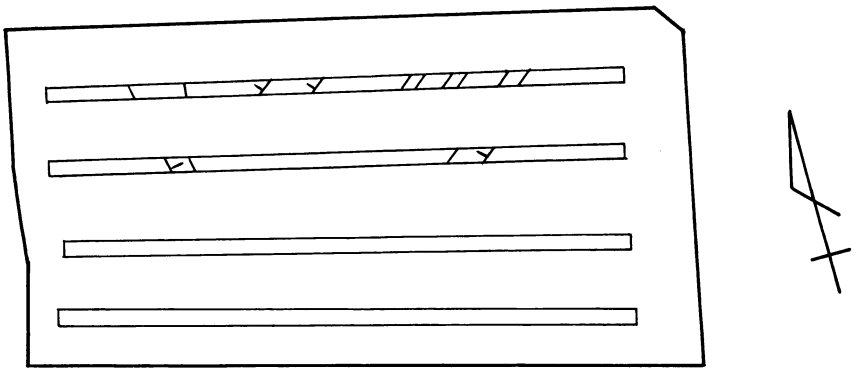
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で遺物散布調査を行ったところ、縄文時代の土器・石器が少量発見されたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて4本のトレンチを設定し、調査を行った。

北側2本のトレンチから凹地状の落ち込みや溝状の落ち込みが検出されたものの、自然地形あるいは比較的最近の耕作等に伴うものと判断された。また、部分的に浅間B軽石と思われる堆積も認められ、水田等の存在も推測されたが、明瞭な畦畔は検出されなかった。これにより調査地は遺跡地ではないと判断された。



第3図　トレンチ設定図（1：500）

2．小暮大松山

所在地

勢多郡富士見村大字小暮字大松山1,900番地10

調査原因

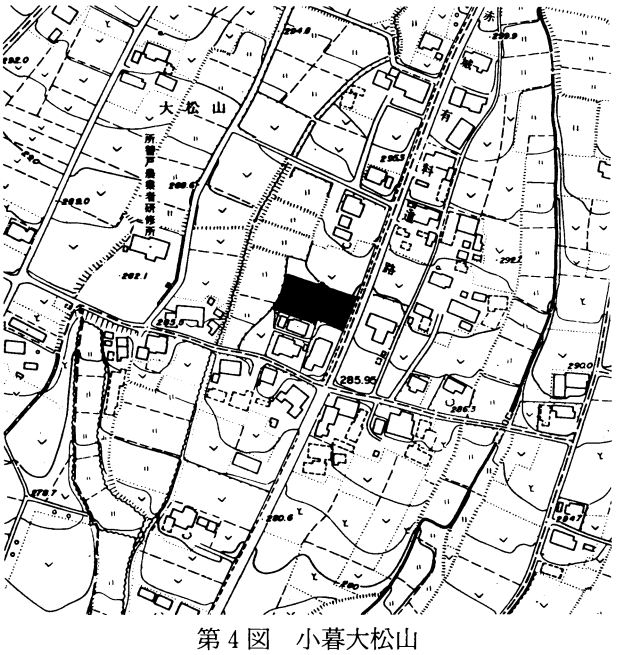
倉庫用地

調査期間

平成８年５月13日

開発面積　　1,080㎡

調査面積　　105㎡



第４図　小暮大松山

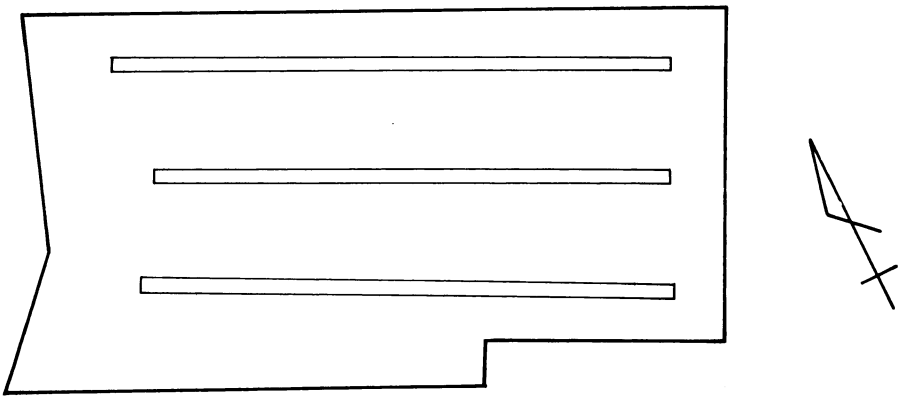
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、小暮中原遺跡に近接するため、開発に先立ち試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて東西に３本のトレンチを設定し、調査を行った。

各トレンチともローム面下までの掘削を行ったが、調査区域内からは遺構・遺物が全く検出されず、遺跡地ではないと判断された。



第５図　トレンチ設定図（１：500）

3．石井柴山遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字石井字柴山1,569番地1外

調査原因

地域福祉施設建設

調査期間

平成8年6月12～15日

開発面積　　11,576㎡

調査面積　　1,330㎡

第6図　石井柴山遺跡

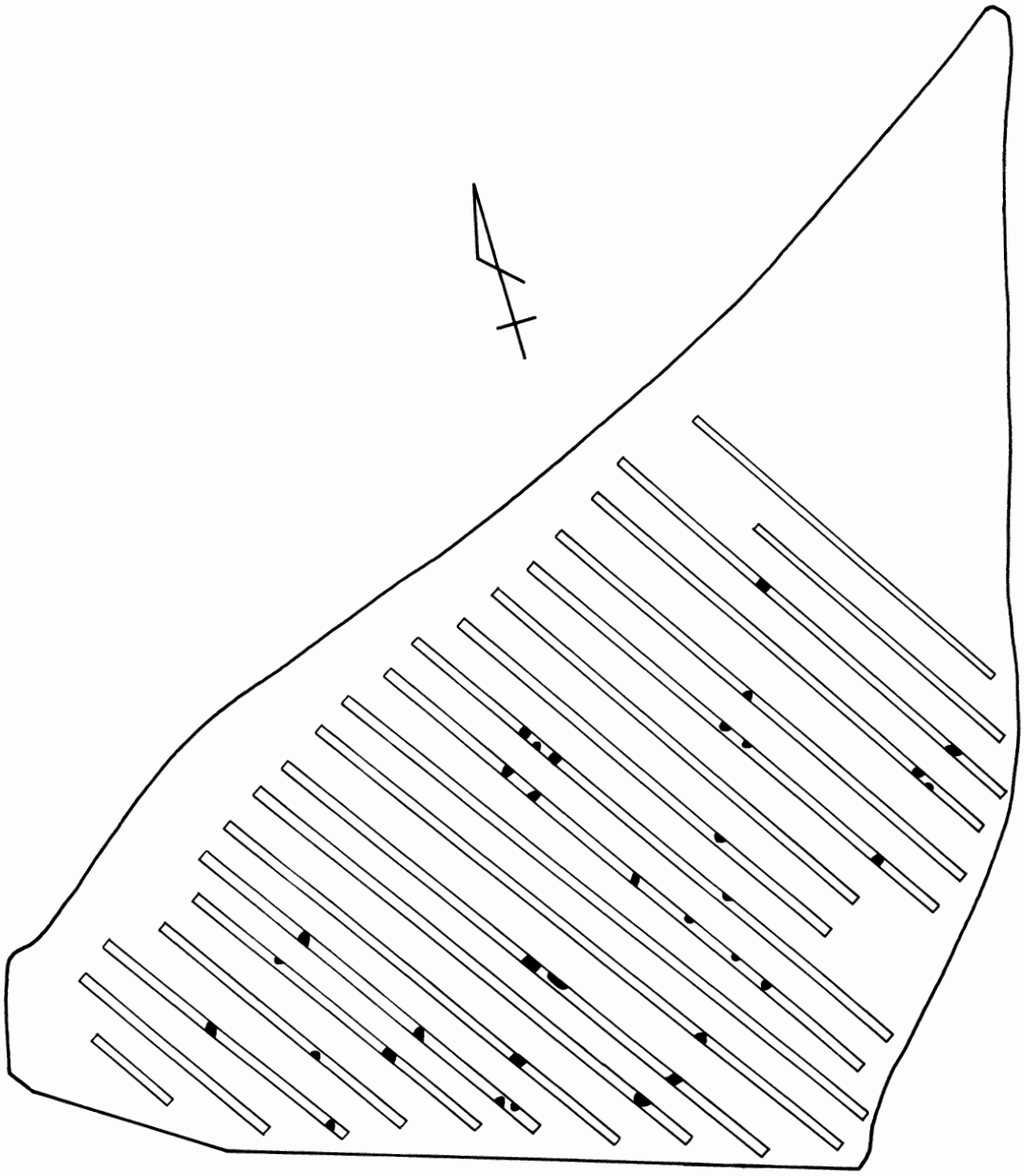
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、埋蔵文化財包蔵地である石井城楽や石井神田に近接しており、また遺物散布調査の結果、数点の土器・石器が採集できたため試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせほぼ5m間隔でトレンチを設定し調査を行った。

淡色黒ボク土上面からは江戸時代頃と推定される石組みの炭窯跡が1基と数点の石鏃が検出されただけであるが、黒ボク土～ローム上面の検出面において大多数のトレンチから陥し穴と推定される落ち込みと少量の土器・石器が検出され、遺跡であることが確認された。これにより事業者と協議を行った結果、掘削の予想される建物と駐車場予定地について発掘調査を行うことで合意し、本年度に実施した。



第７図　トレンチ設定図（１：1000）

4．時　沢　庚

所在地

勢多郡富士見村大字時沢字庚2,835番地１

調査原因

分譲住宅建設

調査期間

平成８年６月14日

開発面積　　1,304㎡

調査面積　　125㎡

第８図　時沢庚

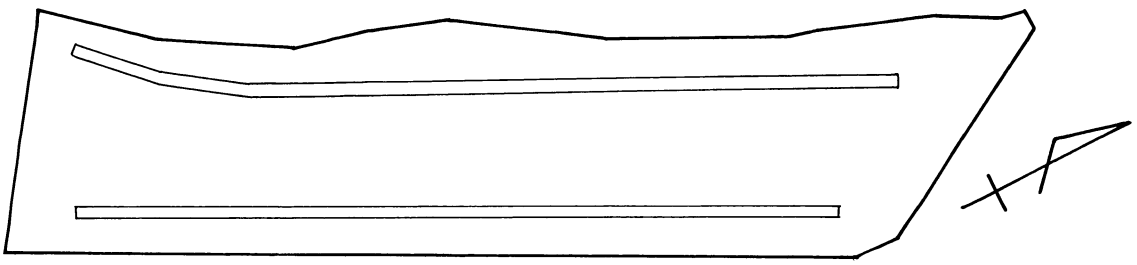
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で遺物散布調査を行ったところ、少量の土器・石器が発見されたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて２本のトレンチを設定し、調査を行った。

各トレンチともローム面下までの掘削を行ったが、調査区域内からは遺構・遺物が全く検出されず、遺跡地ではないと判断された。



第９図　トレンチ設定図（１：600）

5．時沢猿遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字時沢字猿2,074番地１

調査原因

分譲住宅建設

調査期間

平成８年６月15日

開発面積　　1,841㎡

調査面積　　180㎡

第10図　時沢猿遺跡

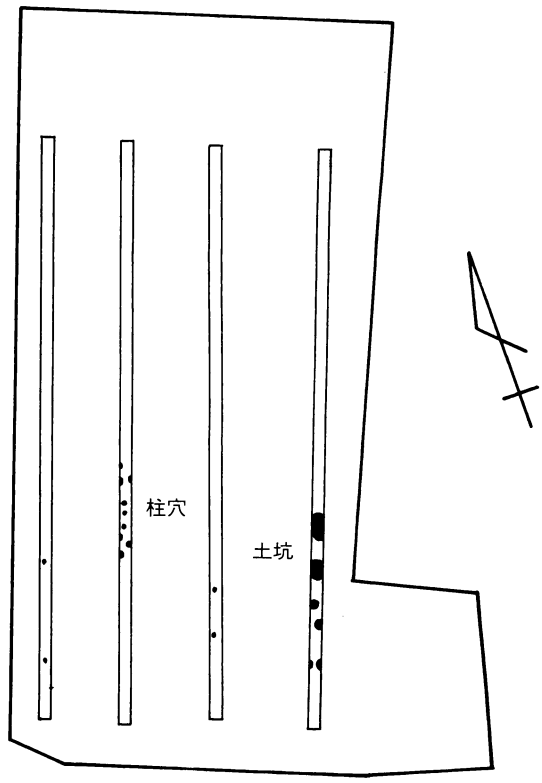
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で遺物散布調査を行ったところ、若干の遺物が発見されたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて南北に４本のトレンチを設定し、調査を行った。

各トレンチとも北半部はある程度台地の旧状を残していたが、縄文時代の数点の土器・石器が出土しただけで明瞭な遺構は検出されなかった。南半部はローム層まで掘削され、既に平坦になっていた。しかし、この平坦な削平面において各トレンチから遺構が検出された。西側３本からは主として柱穴が、東端のトレンチからは土坑が検出され、中近世の遺跡であると予想された。これにより事業者と協議を行い、本年度発掘調査を実施した。



第11図　トレンチ設定図（１：600）

6．旭久保III遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字原之郷字旭久保708番地

調査原因

分譲住宅建設

調査期間

平成８年８月29～30日

開発面積　　2,299m²

調査面積　　300m²

第12図　旭久保III遺跡

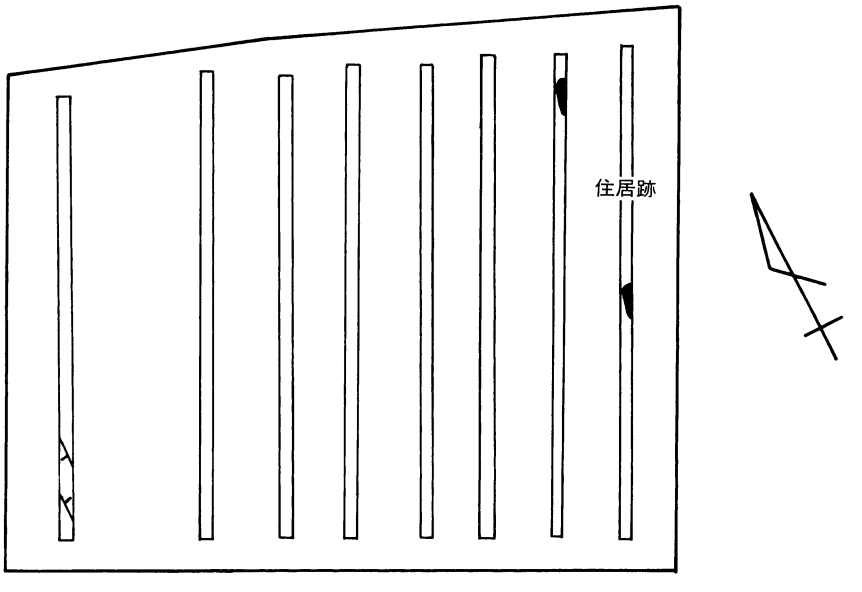
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、先年試掘調査を行った旭久保II遺跡に隣接しているため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて８本のトレンチを設定し、調査を行った。

中央部のトレンチからは遺構・遺物は検出されていない。しかし、西端のトレンチの南半部からほぼ南北方向に走行する溝跡が検出された。また東側２本のトレンチ中頃と北端に各１軒の竪穴住居跡と思われる掘り込みが検出された。これにより調査は遺跡であると確認されたため、保護措置について協議中である。



第13図　トレンチ設定図（１：600）

7．小暮大谷地

所在地

勢多郡富士見村大字小暮字大谷地2,395番地１外

調査原因

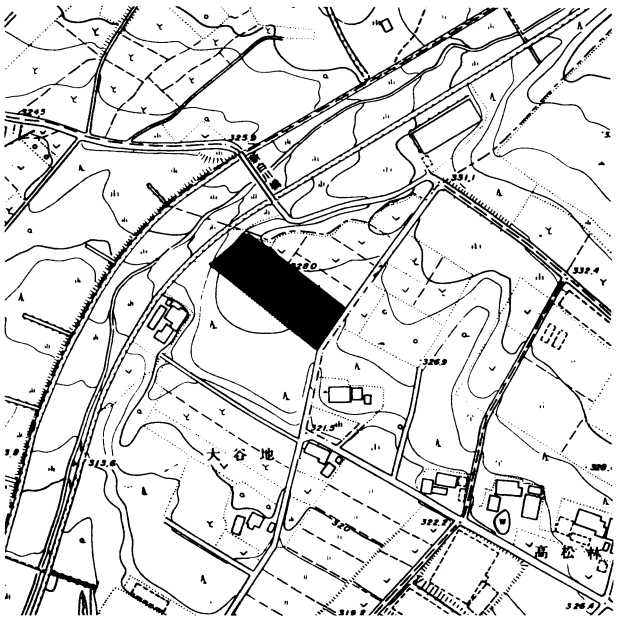
分譲住宅建設

調査期間

平成８年10月19日

開発面積　　2,783m²

調査面積　　125m²



第14図　小暮大谷地

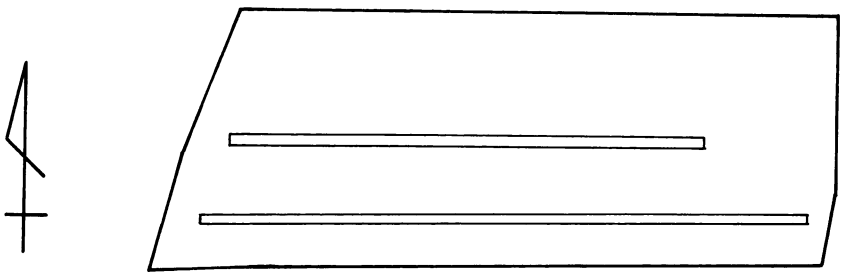
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、群馬県畜産試験場内に所在する小暮西新山遺跡に近接するため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて２本のトレンチを設定し、調査を行った。

地表面から１m以上の厚さで赤城白川の礫を含む氾濫土が堆積しており、遺構・遺物は全く検出されなかった。これにより、調査地は遺跡ではないと判断された。



第15図　トレンチ設定図（１：1000）

8．石井天神平

所在地

勢多郡富士見村大字石井字天神平2,445番地61

調査原因

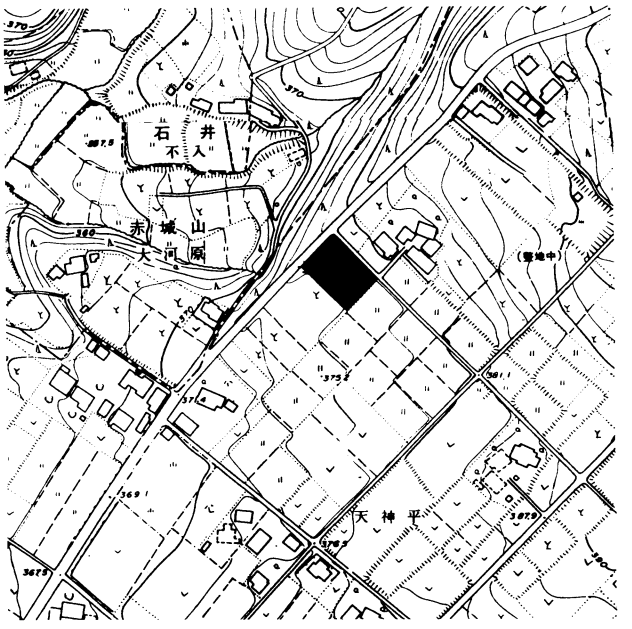
ポンプ場建設

調査期間

平成８年11月８日

開発面積　　1,300㎡

調査面積　　113㎡



第16図　石井天神平

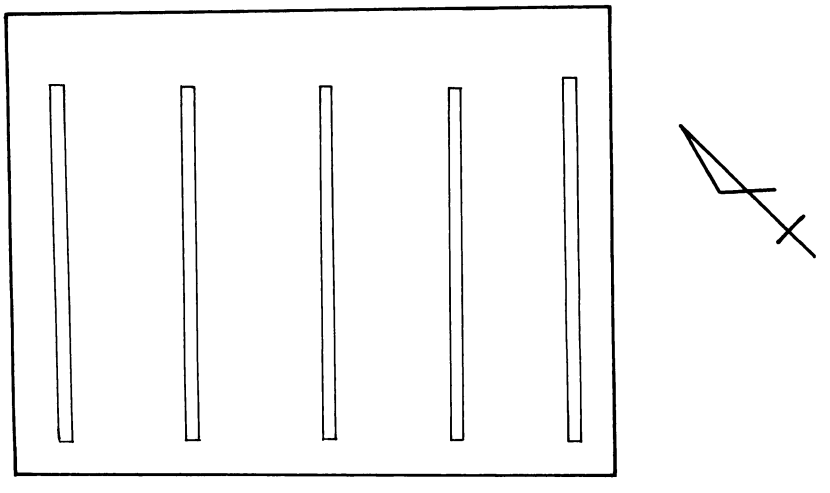
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で遺物散布調査を行ったところ、縄文時代の土器・石器が散布していたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて５本のトレンチを設定し、調査を行った。遺構検出面は淡色黒ボク土上面とローム層上面である。

調査地南端の淡色黒ボク土上面から数点の縄文土器が出土した。また、南端と中央部から縄文時代と思われる倒木痕２基が検出されたが、これ以外の遺物や明瞭な遺構は検出されなかった。これにより調査地周辺に遺跡が存在する可能性は大きいと思われるが、調査地自体の開発には支障がないと判断された。



第17図　トレンチ設定図（１：500）

9．小沢的場遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字小沢字的場555番地

調査原因

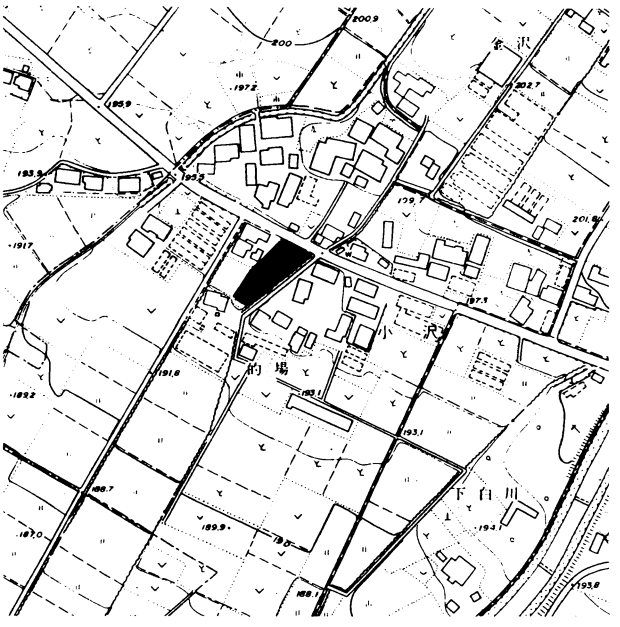
事務所建設

調査期間

平成９年２月３日

開発面積　　1,029㎡

調査面積　　97㎡



第18図　小沢的場遺跡

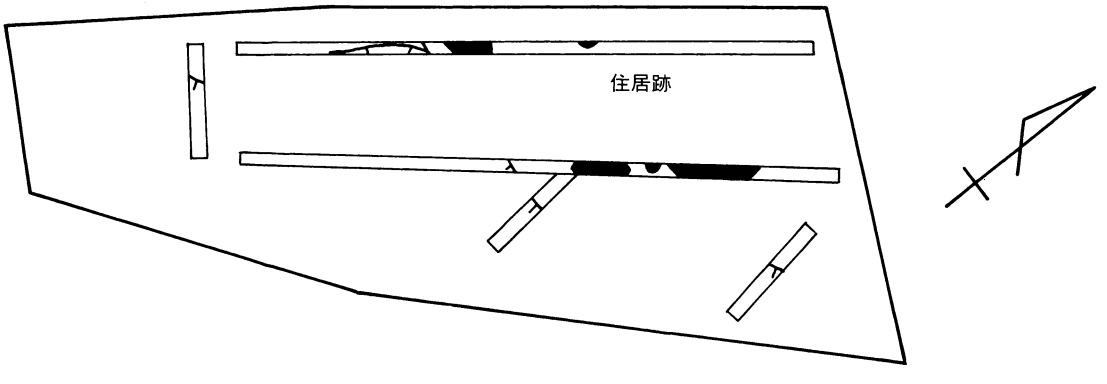
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で現地確認を行ったところ、土器破片が散布していたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて５本のトレンチを設定し、調査を行った。

調査地の東側から南側は比較的深い谷状の地形で、赤城白川の氾濫土や比較的最近と思われる耕作土に覆われており、数点の陶磁器が出土したが遺構は検出されなかった。しかし、北半部は台地となっており、古墳時代頃と思われる住居跡や土坑が検出され、遺跡であることが確認された。埋蔵文化財の保護措置については現在協議中である。



第19図　トレンチ設定図（１：500）

10. 小暮木ノ根坂

所在地

勢多郡富士見村大字小暮字木ノ根坂2,323番地1

調査原因

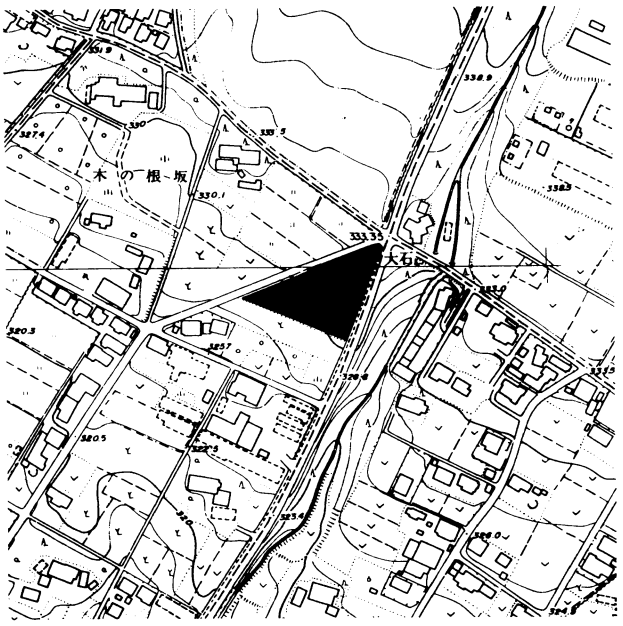
住宅及び店舗建設

調査期間

平成9年2月4日

開発面積 2,644m²

調査面積 103m²



第20図　小暮木ノ根坂

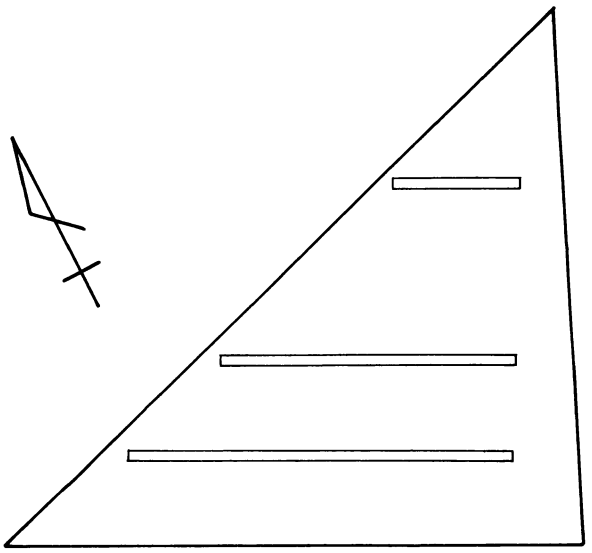
調査の経緯

調査地は群馬県畜産試験場内に位置する小暮西新山遺跡の南側に隣接するため、開発に先立ち試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて3本のトレンチを設定し、調査を行った。

各トレンチともローム上面までの掘削を行った。調査地の西半部は浅い谷状の地形で遺構・遺物は全く検出されなかった。東側は台地状であり、中央のトレンチから時期不明のピットと縄文時代と思われる倒木痕が検出されたが、これ以外の明瞭な遺構・遺物は検出されなかった。これにより調査地は遺跡である可能性は少ないと判断されたため、開発には支障無いと回答した。



第21図　トレンチ設定図（1：1000）

11. 時沢中谷遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字時沢字中谷2,309番地

調査原因

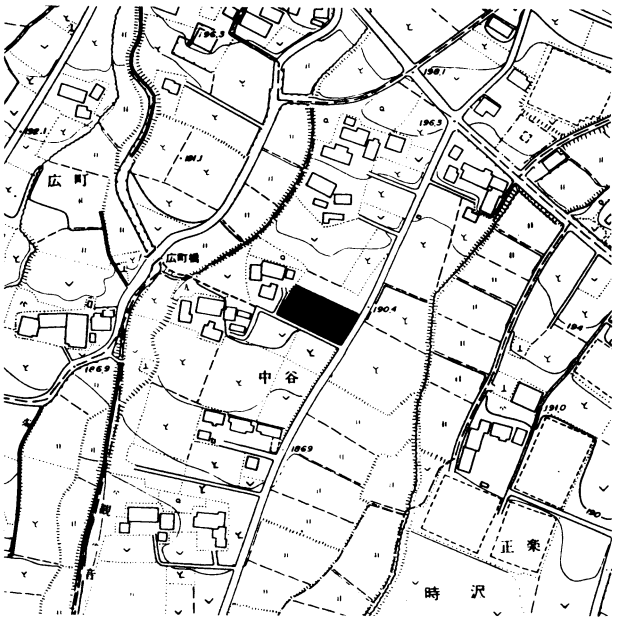
共同住宅建設

調査期間

平成９年２月10日

開発面積　969㎡

調査面積　112㎡



第22図　時沢中谷遺跡

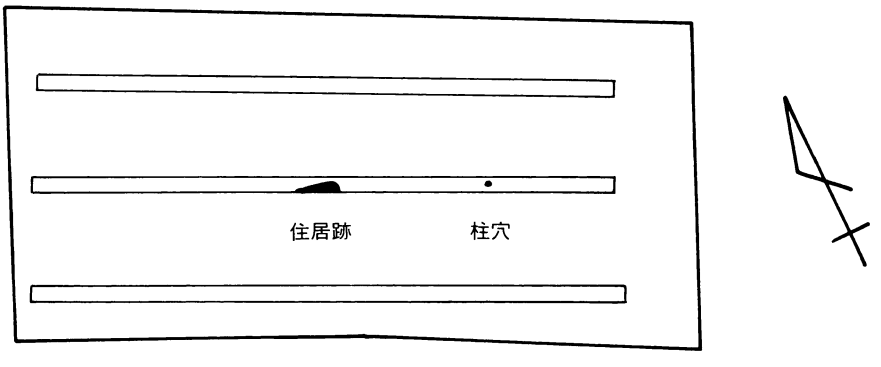
調査の経緯

調査地は東西を浅い谷状の地形に挟まれた台地上に位置する。周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で現地確認を行ったところ、平安時代頃と思われる土器破片が発見され、遺跡の存在が予想されたため試掘調査を行う必要が生じた。

調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて３本のトレンチを設定し、調査を行った。

調査地の西端からは淡色黒ボク土上面から数点の縄文時代の土器破片が出土したため、確認面をローム層まで下げたが明瞭な遺構や新たな遺物の出土はなかった。しかし、調査地のほぼ中央部から竪穴住居跡、東端から数基のピットが検出され調査地は遺跡であることが確認された。埋蔵文化財の保護措置については現在協議中である。



第23図　トレンチ設定図（１：500）

12. 原之郷鰻沢遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字原之郷字鰻沢1297番地1外

調査原因

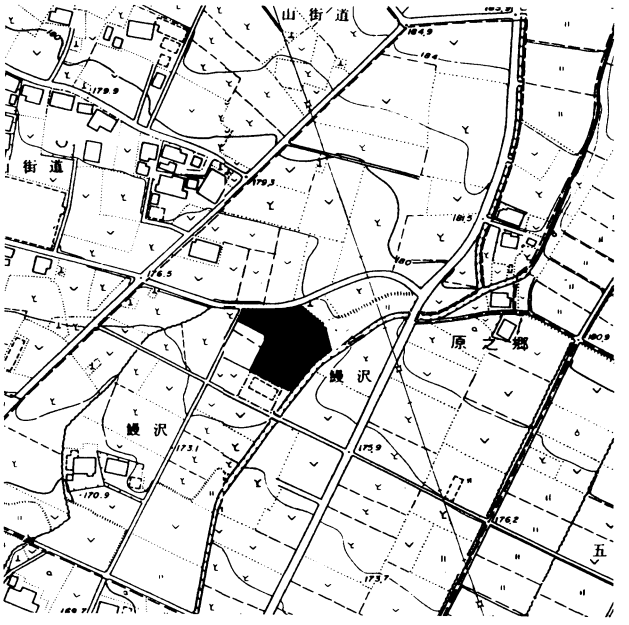
事務所及び工場建設

調査期間

平成9年2月12・13日

開発面積 2,411m²

調査面積 325m²



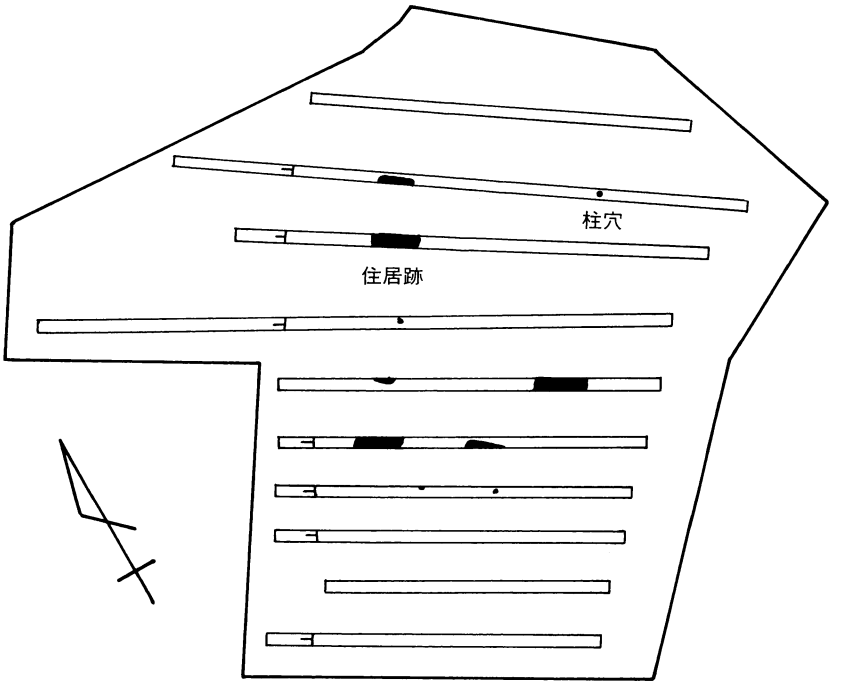
第24図　原之郷鰻沢遺跡

調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で遺物散布調査を行ったところ、土師器・須恵器片が散布していたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査地の西端部は浅い谷地状の地形であり、遺構・遺物は検出されなかった。しかし、東側は赤城白川の氾濫原に面して台地地形となっており、20～30cmの表土層直下から平安時代頃と思われる竪穴住居跡、柱穴等が検出され、遺跡地であることが判明した。遺跡の保護措置については現在協議中である。



第25図　トレンチ設定図（1：600）

13. 原之郷東原遺跡

所在地

勢多郡富士見村大字原之郷字東原1124番地

調査原因

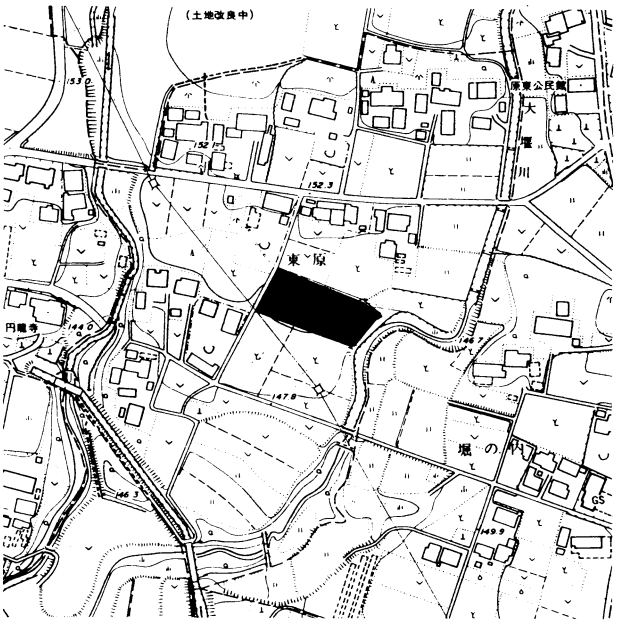
共同住宅建設

調査期間

平成９年２月14・15日

開発面積　　2,243㎡

調査面積　　310㎡



第26図　原之郷東原遺跡

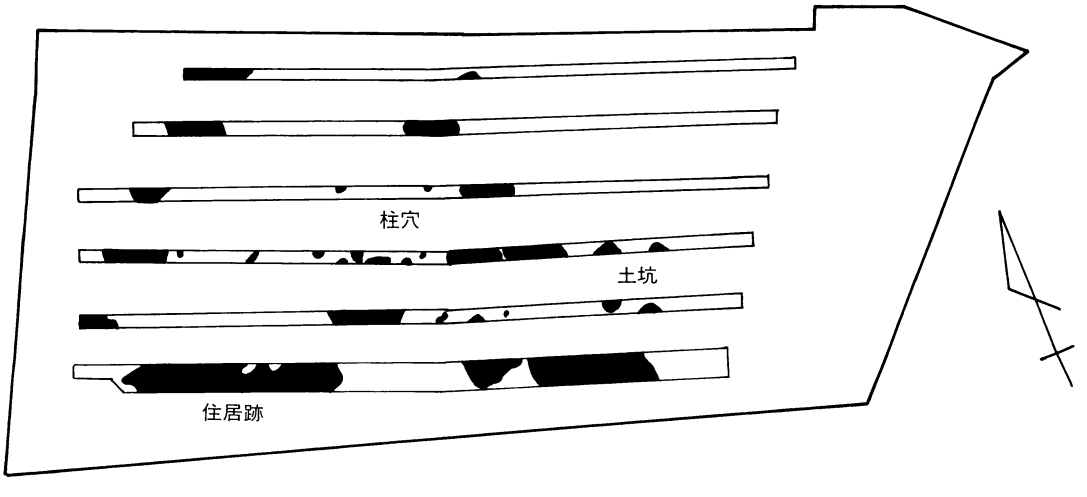
調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で現地確認を行ったところ、縄文時代の土器・石器、奈良～平安時代と思われる土器片が散布していたため、試掘調査を行った。

調査の結果

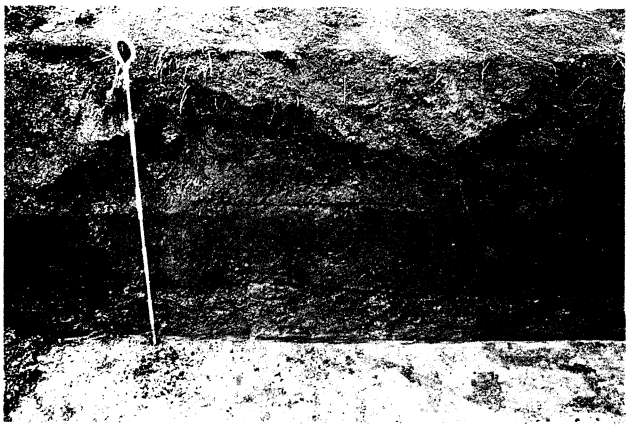
調査地の形状・地形に合わせて東西方向に６本のトレンチを設定し、調査を行った。

各トレンチともに30～40cmの表土層直下から遺構、遺物が検出された。調査地の西端には時期不明の道路跡、南半部の広い範囲に奈良～平安時代と思われる多数の住居跡、柱穴等が検出された。さらに、中央部には縄文時代前期と思われる住居跡、土坑が検出された。これにより、調査地は遺跡であることが確認されたが、遺跡の保護措置については現在協議中である。



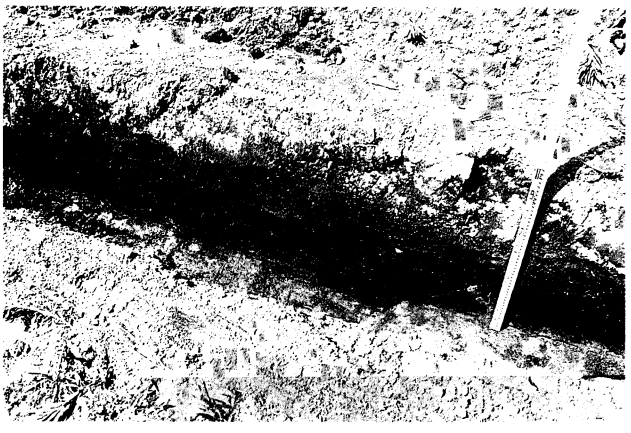
第27図　トレンチ設定図（１：600）

1．時沢利根林　トレンチ掘削状況



2．小暮大松山　トレンチ掘削状況

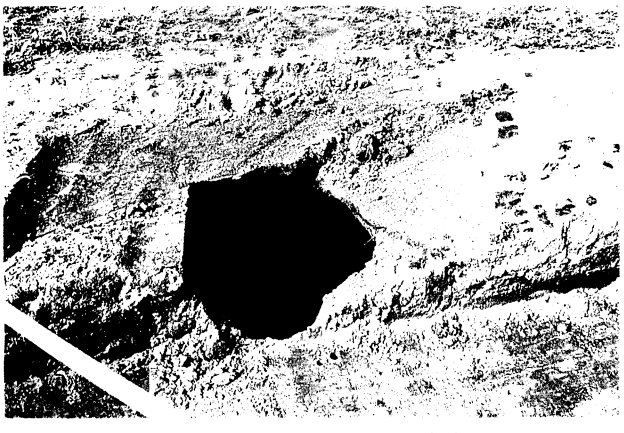
3．石井柴山遺跡　トレンチ掘削状況



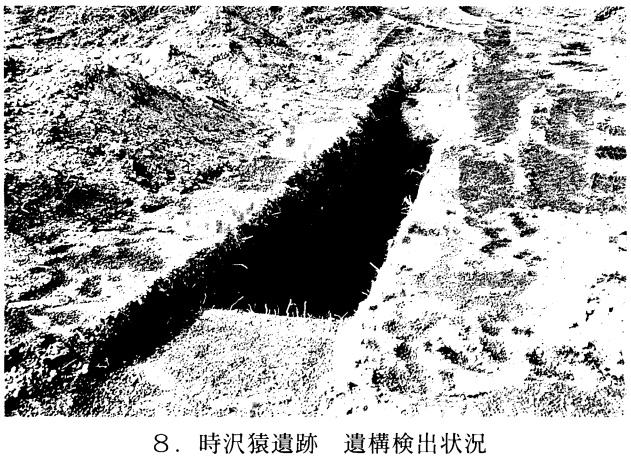
4．石井柴山遺跡　トレンチ掘削状況

5．石井柴山遺跡　陥し穴検出状況

6．時沢庚　トレンチ掘削状況



7．時沢猿遺跡　トレンチ掘削状況



8．時沢猿遺跡　遺構検出状況

PL　2

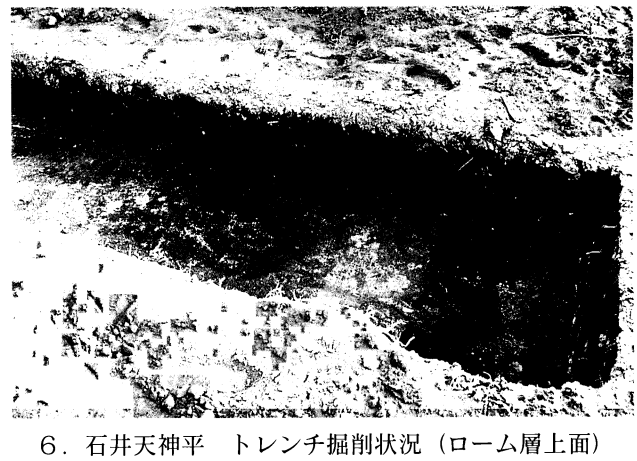
1．旭久保Ⅲ遺跡　トレンチ掘削状況

2．旭久保Ⅲ遺跡　住居跡検出状況

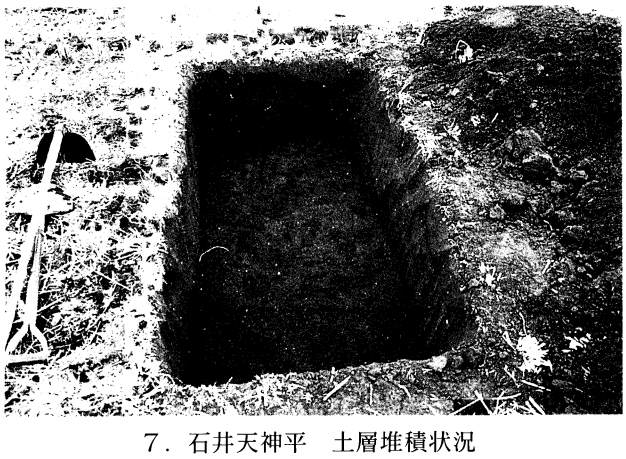
3．小暮大谷地　トレンチ掘削状況

4．小暮大谷地　トレンチ掘削状況

5．石井天神平　トレンチ掘削状況（淡色黒ボク土上面）



6．石井天神平　トレンチ掘削状況（ローム層上面）



7．石井天神平　土層堆積状況

8．小沢的場遺跡　トレンチ掘削状況

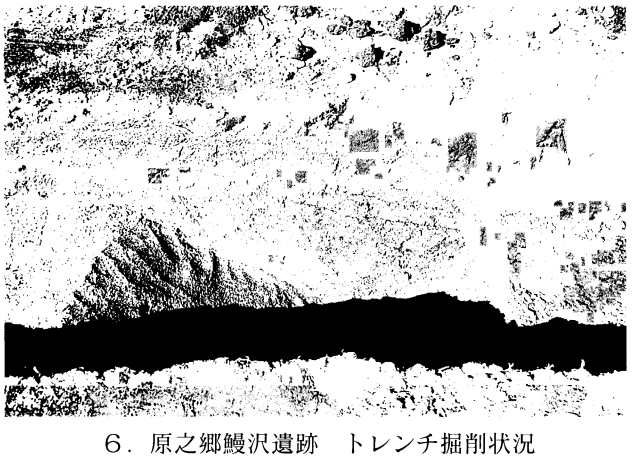
1．小沢的場遺跡　トレンチ掘削状況

2．小暮木ノ根坂　トレンチ掘削状況（淡色黒ボク土上面）

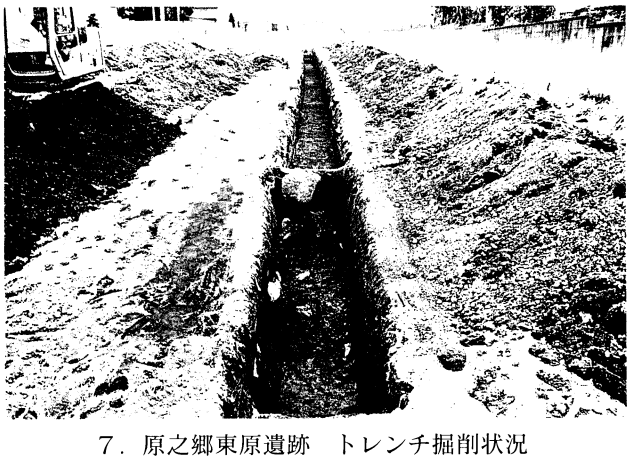
3．時沢中谷遺跡　トレンチ掘削状況

4．時沢中谷遺跡　住居検出状況

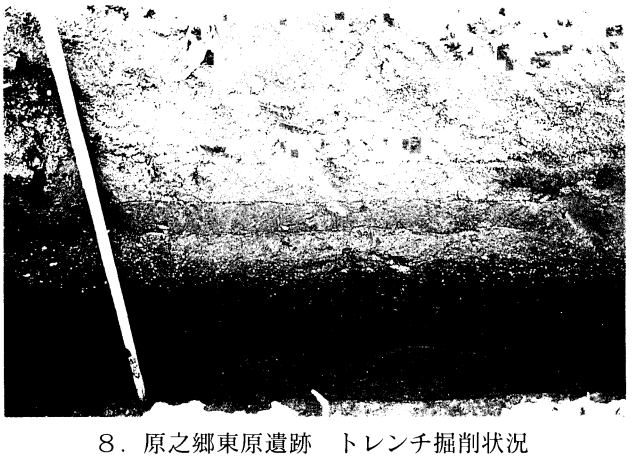
5．原之郷鰻沢遺跡　トレンチ掘削状況



6．原之郷鰻沢遺跡　トレンチ掘削状況



7．原之郷東原遺跡　トレンチ掘削状況



8．原之郷東原遺跡　トレンチ掘削状況

平成８年度
村 内 遺 跡

平成９年３月18日印刷
平成９年３月25日発行

編集・発行／群馬県勢多郡富士見村教育委員会
群馬県勢多郡富士見村大字田島866-1
電話（0272）88-6111

印　　刷／朝 日 印 刷 工 業 株 式 会 社